

具体的な活動 I 地球温暖化防止対策（2015、2016年度）

【館林工場】設備の集約化及び更新

社内改善活動の取り組みにより、熱交換器を集約しました。この集約化により、加熱工程で使用する蒸気を約20%削減することに成功しています。また、冷却チラーを更新しました。従来の水冷式から空冷式に変更した事により、メンテナンスも不要となりました。まだ本稼働する夏季を迎えていないのですが、更新後の電力量は約40%削減できています。

【館林工場】排水処理施設更新による省エネ



新ブロアー室



新前処理施設

館林工場では老朽化した排水処理施設の再構築中です。2015年度にブロアー室移転集約化と前処理施設の移転更新を実施しました。省エネ効果としては、排水処理施設全体で電力量を年間520MWhから450MWh（△13.5%）へ削減することができました。工場全体の電力量で見ても△3.5%にあたる、大きな削減効果が得られています。

【館林東工場】厚生棟のエアコン更新

オゾン層破壊物質であるHCFC類（R22冷媒等）は、モントリオール議定書およびオゾン層保護法により2020年末までにその生産及び消費を全廃することとされています。当工場では、厚生棟のエアコンのほとんどにR22が使用されていることから、2016年より更新を開始し、エアコン9台を冷媒HFC（R410AおよびR32）の最新機種に入れ替えました。省エネ効果としては、13kWh/年の電力削減が見込まれます。今後は生産エリアのエアコンの更新も順次進め対応していく予定です。



【本社地区】蛍光灯からLEDへの切り替え



本社棟では照明器具の省エネ器具化を進めています。アトリウム・ホール等の共用部の照明、非常灯などLEDに切り替えることによる節電効果が見込まれます。

【本社地区】大型冷蔵庫更新

研究棟屋外で使用している大型冷蔵庫の更新を行いました。更新前は3基の冷却器を使用していましたが、省エネタイプの冷却器2基に変更しました。これにより研究棟の年間電力消費量の約10%の削減効果が見込まれます。